

●一斉学習 ■教師説明型

実践タイトル 電子黒板を用いてこん虫のつくりを考える

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・こん虫の写真や、児童がかいたチョウの絵を電子黒板で提示して、こん虫の体のつくりについて考えさせる。

指導者用デジタル教科書
PC教材・静止画

・写真を拡大表示したり、提示した写真にペンで印をつけたりすることで、細部までしっかりと観察をさせる。

参考にしてほしいポイント

- ・本時の導入で、プレゼンテーションソフトウェアを使ったフラッシュ型クイズを作成し、既習事項をテンポよく確認することで、学習への興味を高める。
- ・画像を拡大して、ペンで書き込むときは、背景色と重なったり、遠くの席の児童からは見えにくい場合があるので、色や太さに気をつける必要がある。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 5	・電子黒板にモンシロチョウの写真(卵から成虫まで)を成長順に提示し、前時までに学習したモンシロチョウの育ち方について振り返る。	・自作PC教材フラッシュカード型教材「モンシロチョウクイズ」(プレゼンテーションソフトウェア)(写真1)
展開 5 30	・児童がイメージしたモンシロチョウの絵を電子黒板に提示しながら見比べて、違いを考えることで、チョウを観察する際の観点を持つ。 ・モンシロチョウの写真と自分たちがかいた絵との違いに気を付けながら観察をする。	・児童がチョウをイメージしてかいたイラスト(写真2) ・モンシロチョウの静止画
まとめ 30 45	・アゲハチョウの写真を提示してモンシロチョウと見比べ、共通点を探すことで、チョウの体のつくりの特徴について考え、まとめる。 ・チョウの体は、「頭・胸・腹」からできていることや胸に6本の足があることなどを振り返る。 ・次時は、トンボやバッタの育ち方について考えることを伝える。	・モンシロチョウとアゲハチョウの静止画(写真3)



写真1: 自作PC教材フラッシュカード型教材を使ってモンシロチョウクイズをする



写真2: 電子黒板に映し出したモンシロチョウのイラストを基に体のつくりを予想

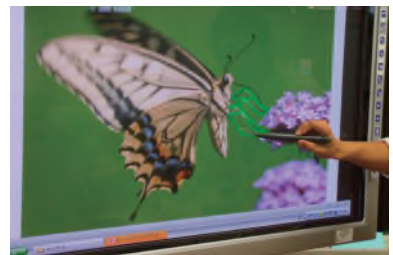


写真3: 拡大して映し出したチョウの写真にペンで書き込みながら体のつくりを確認

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・児童がチョウをイメージしてかいた絵を提示し、チョウの特徴についての観点を持つことで、静止画を見たときに、足の数や体のかたちに気をつけて観察をすればいいことを理解することができた。
- ・静止画を提示しながら、拡大をしたり、ペンで書き込んだりすることで、より細かい部分にまで注目して観察をすることができた。

活用効果

評価の観点	・自然事象についての知識・理解	具体的変容	・電子黒板に提示された絵や写真を見比べることで、観点をしっかりと持ち、観察をすることができた。
-------	-----------------	-------	---

実践の手応え

- ・自分たちがかいたイラストをもとにチョウの体のつくりの特徴について考え、観点を持って観察することができた。また、写真を拡大したり、ペンで書き込んだりしたことで、ポイントを押さえながら確認することができた。